



AMUSE

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年5月15日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東  
 コード番号 4301 URL <https://www.amuse.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 柏木 伸裕 MAIL [amuseir@amuse.co.jp](mailto:amuseir@amuse.co.jp)  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月25日 配当支払開始予定日 2023年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 有  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	52,497	35.5	3,153	9.5	3,379	20.7	1,692	8.2
2022年3月期	38,744	—	2,879	—	2,800	—	1,564	—

(注) 包括利益 2023年3月期 2,511百万円 (58.9%) 2022年3月期 1,581百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	100.61	—	4.9	6.3	6.0
2022年3月期	89.74	—	4.5	5.7	7.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 174百万円 2022年3月期 △87百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	58,294	37,581	59.0	2,075.82
2022年3月期	49,313	37,761	71.3	2,017.09

(参考) 自己資本 2023年3月期 34,389百万円 2022年3月期 35,155百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	10,002	△1,957	△2,933	32,163
2022年3月期	1,654	△1,280	△657	26,964

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	708	44.6	2.0
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	678	39.8	1.9
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		40.2	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△10.5	2,700	△14.4	2,800	△17.2	1,650	△2.5	99.60

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 14「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期	18,623,520株	2022年3月期	18,623,520株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期	2,056,659株	2022年3月期	1,194,751株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2023年3月期	16,826,625株	2022年3月期	17,428,274株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式(2023年3月期399,530株、2022年3月期288,160株)が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期328,968株、2022年3月期288,752株)。

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	36,465	29.4	1,282	△32.0	1,465	△28.0	888	△10.7
2022年3月期	28,190	—	1,886	—	2,034	—	994	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	52.77	—
2022年3月期	57.04	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	45,635	30,178	66.1	1,821.65
2022年3月期	40,001	31,939	79.8	1,832.55

(参考) 自己資本 2023年3月期 30,178百万円 2022年3月期 31,939百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイト同日公開しております。

2. 当社は、2023年5月23日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	38,744	52,497	13,753	35.5
営業利益	2,879	3,153	274	9.5
経常利益	2,800	3,379	578	20.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,564	1,692	128	8.2

#### 〔経済状況〕

当連結会計年度のわが国経済は、ウィズコロナの下での政府の各種経済政策による効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されました。一方で、世界的な金融引き締めが続いていることによる海外景気の下振れが、わが国の景気へのリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動などによる影響を引き続き注視する必要があります。

#### 〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入524億9千7百万円（前年同期比35.5%増）、営業利益31億5千3百万円（前年同期比9.5%増）、経常利益33億7千9百万円（前年同期比20.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益16億9千2百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

当連結会計年度においては新型コロナウイルス感染症に係るイベントの開催制限の緩和に伴い、大型公演の開催が例年よりも集中したことにより、前年同期に比べ、イベント収入が大きく増加いたしました。また、前連結会計年度での収益認識会計基準等の適用初年度に伴う一時的な営業収入減少からの回復等もあり、営業収入は増収となりました。営業利益については、アーティスト報酬の増加や従業員の給与水準の見直し等により、営業原価、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収要因により増益となりました。経常利益については、当連結会計年度より株式会社MASH A&Rを持分法適用の範囲に含めたことによる「持分法による投資利益」の計上等により増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、「関係会社株式売却損」の計上及び「法人税等」並びに「非支配株主に帰属する当期純利益」の増加はあったものの、「固定資産売却益」の計上等により増益を確保いたしました。

#### <営業収入>

- ・ イベント収入が増加
- ・ 商品売上収入が増加
- ・ レーベル収入が増加
- ・ 印税収入が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ 出演収入が増加

上記要因に加えて、前連結会計年度での収益認識会計基準等の適用初年度に伴う一時的な営業収入減少からの回復により増収となりました。

#### <営業利益>

営業原価、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収要因により増益となりました。

#### <経常利益>

「持分法による投資利益」の計上等により増益となりました。

#### <親会社株主に帰属する当期純利益>

「関係会社株式売却損」の計上及び「法人税等」並びに「非支配株主に帰属する当期純利益」の増加はあったものの、「固定資産売却益」の計上等により増益を確保いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	20,838	32,510	11,671	56.0
音楽・映像事業	12,561	14,452	1,891	15.1
出演・CM事業	5,344	5,535	190	3.6
合計	38,744	52,497	13,753	35.5

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	449	473	23	5.3
音楽・映像事業	1,148	1,938	790	68.8
出演・CM事業	1,281	741	△539	△42.1
調整額	—	—	—	—
合計	2,879	3,153	274	9.5

### 【イベント関連事業】

営業収入325億1千万円（前年同期比56.0%増）、セグメント利益4億7千3百万円（前年同期比5.3%増）となり、増収増益となりました。

### 【主な事業】

- ・ イベント収入：＜コンサート＞

桑田佳祐、福山雅治、SEKAI NO OWARI、Perfume、ポルノグラフィティ、エレファントカシマシ、宮本浩次、BEGIN、Skoop On Somebody、FLOW、折坂悠太、神はサイコロを振らない、DEAN FUJIOKA、藤原さくら、DYGLのコンサートツアー

星野源、BABYMETAL、原由子、WEAVER、@onefiveのコンサート

＜舞台・公演＞

ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」

芸術花火エンタテインメント「茅ヶ崎サザン芸術花火2022」

ミュージカル「MEAN GIRLS」

ミュージカル「マリー・キュリー」

地球ゴージャス「クラウディア」

熱海五郎一座「任侠サーカス ～キズナたちの挽歌～」

s\*\*t kingz「HELLO ROOMIES!!!」

若手俳優による「SUPER HANDSOME LIVE 2022」

- ・ 商品売上収入：コンサートグッズなど

- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、ポルノグラフィティなど

### ＜営業収入＞

- ・ イベント収入の増加

(前年同期は桑田佳祐、福山雅治、ポルノグラフィティのコンサートツアー、TEAM NACSによる公演など)

- ・ 商品売上収入の増加

(前年同期は収益認識会計基準等の適用に伴う影響による減収がありましたが、当期はイベント増加による関連グッズの増加により増収となりました。)

上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

イベント収入に係る営業原価の増加はあったものの、増収要因により増益となりました。

[音楽・映像事業]

営業収入144億5千2百万円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益19億3千8百万円（前年同期比68.8%増）となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：桑田佳祐、サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfumeなど
- ・ レーベル収入：福山雅治、まふまふのライブBlu-ray&DVD、BABYMETALのアルバムなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：映画「沈黙のパレード」の劇場配給分配収入、イベント興行の中継及び上映収入など
- ・ 映像作品販売収入：吉高由里子主演ドラマ「最愛」、映画「護られなかった者たちへ」などのBlu-ray&DVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入が増加  
（前年同期は福山雅治、BABYMETAL、@onefiveのBlu-ray&DVDなど）
- ・ 印税収入（新譜・旧譜）が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加  
（前年同期は映画「新解釈・三國志」、映画「今日から俺は！！劇場版」の劇場配給分配収入など）  
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

映像製作収入等に係る営業原価の増加はあったものの、増収要因により増益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入55億3千5百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益7億4千1百万円（前年同期比42.1%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、安田顕、星野源、DEAN FUJIOKA、ホラン千秋、仲里依紗、板谷由夏、吉高由里子、吉沢亮、三吉彩花、堀田真由、小関裕太、清原果耶、桜田通など

<営業収入>

出演収入の増加により増収となりました。

<セグメント利益>

出演収入及びCM収入に係る営業原価の増加により減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度 2022年3月期	当連結会計年度 2023年3月期	増減額
総資産 (百万円)	49,313	58,294	8,981
純資産 (百万円)	37,761	37,581	△180
自己資本比率 (%)	71.3	59.0	△12.3
1株当たり純資産 (円)	2,017.09	2,075.82	58.73

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は582億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億8千1百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動資産「未収入金」の減少はありましたが、流動資産「現金及び預金」及び「営業未収入金」並びに投資その他の資産「投資有価証券」の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は207億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ91億6千1百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債「営業未払金」及び「その他」の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は375億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千万円減少いたしました。主な減少要因は、自己株式の市場買付などによる「自己株式」の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は59.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2022年3月期	当連結会計年度 2023年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,654	10,002	8,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,280	△1,957	△676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△657	△2,933	△2,275
現金及び現金同等物の期末残高	26,964	32,163	5,199

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ51億9千9百万円増加し、当連結会計年度末には321億6千3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は100億2百万円（前年同期は16億5千4百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債権の増加はありましたが、営業債務の増加及び未収入金の減少による資金増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19億5千7百万円（前年同期は12億8千万円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の売却はありましたが、有形固定資産の取得、無形固定資産の取得及び関係会社株式の取得による資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は29億3千3百万円（前年同期は6億5千7百万円の使用）となりました。

これは、主に自己株式の取得及び配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度については新型コロナウイルス感染症に係るイベントの開催制限の緩和に伴い、大型公演の開催が例年よりも集中し、コンサートツアー、舞台公演、ライブ制作事業、ライブ・ビューイング事業が大変好調でありました。一方、翌連結会計年度についてはコンサート、舞台公演等の反動減に伴い、減収減益を見込んでおります。

以上を踏まえた当社グループの次期の業績見通しは、営業収入470億円（前年同期比10.5%減）、営業利益27億円（前年同期比14.4%減）、経常利益28億円（前年同期比17.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益16億5千万円（前年同期比2.5%減）を計画しております。

アーティストの才能開発、オリジナル作品やコンテンツの開発、テクノロジーを起点としたサービス開発を通じて、中長期的な収益力の向上に努めてまいります。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	翌連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	52,497	47,000	△5,497	△10.5
営業利益	3,153	2,700	△453	△14.4
経常利益	3,379	2,800	△579	△17.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,692	1,650	△42	△2.5

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,481	32,679
営業未収入金	4,887	8,635
商品及び製品	1,321	1,170
仕掛品	1,282	762
原材料及び貯蔵品	190	156
未収入金	3,271	2,180
その他	1,172	890
貸倒引当金	△153	△167
流動資産合計	39,454	46,308
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,821	2,353
土地	996	1,028
リース資産（純額）	14	8
その他（純額）	549	871
有形固定資産合計	3,381	4,261
無形固定資産		
のれん	—	226
その他	431	635
無形固定資産合計	431	862
投資その他の資産		
投資有価証券	4,606	5,582
繰延税金資産	518	319
その他	1,054	1,067
貸倒引当金	△135	△107
投資その他の資産合計	6,045	6,862
固定資産合計	9,858	11,985
資産合計	49,313	58,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	6,707	11,740
リース債務	7	6
未払法人税等	241	652
役員賞与引当金	31	36
従業員株式給付引当金	20	32
その他	2,961	6,506
流動負債合計	9,970	18,974
固定負債		
長期借入金	122	206
リース債務	12	3
役員株式給付引当金	58	74
退職給付に係る負債	1,373	1,437
その他	14	14
固定負債合計	1,581	1,737
負債合計	11,551	20,712
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	31,149	31,855
自己株式	△1,249	△2,931
株主資本合計	33,772	32,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,400
為替換算調整勘定	13	141
退職給付に係る調整累計額	50	51
その他の包括利益累計額合計	1,382	1,592
非支配株主持分	2,606	3,191
純資産合計	37,761	37,581
負債純資産合計	49,313	58,294

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業収入	38,744	52,497
営業原価	30,665	43,749
営業総利益	8,078	8,748
販売費及び一般管理費	5,199	5,595
営業利益	2,879	3,153
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	4	12
為替差益	24	13
受取手数料	3	0
補助金収入	13	45
持分法による投資利益	—	174
その他	12	18
営業外収益合計	64	269
営業外費用		
持分法による投資損失	87	—
事業組合投資損失	51	0
自己株式取得費用	—	32
その他	4	10
営業外費用合計	143	43
経常利益	2,800	3,379
特別利益		
固定資産売却益	—	288
投資有価証券売却益	13	—
関係会社清算益	—	3
特別利益合計	13	292
特別損失		
投資有価証券評価損	—	10
関係会社株式評価損	382	1
関係会社株式売却損	—	141
契約解約損	5	—
減損損失	248	—
公演中止損失	54	36
特別損失合計	691	190
税金等調整前当期純利益	2,122	3,482
法人税、住民税及び事業税	469	1,017
法人税等調整額	△53	163
法人税等合計	415	1,180
当期純利益	1,707	2,301
非支配株主に帰属する当期純利益	143	608
親会社株主に帰属する当期純利益	1,564	1,692

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,707	2,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△252	81
為替換算調整勘定	117	127
退職給付に係る調整額	8	0
その他の包括利益合計	△126	210
包括利益	1,581	2,511
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,437	1,903
非支配株主に係る包括利益	143	608

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,239	30,205	△1,269	32,763
当期変動額					
剰余金の配当			△620		△620
親会社株主に帰属する当期純利益			1,564		1,564
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				20	20
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		44			44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	44	943	20	1,008
当期末残高	1,587	2,284	31,149	△1,249	33,772

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,571	△104	42	1,509	2,566	36,839
当期変動額						
剰余金の配当						△620
親会社株主に帰属する当期純利益						1,564
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						20
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減						44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△252	117	8	△126	39	△86
当期変動額合計	△252	117	8	△126	39	922
当期末残高	1,318	13	50	1,382	2,606	37,761

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,284	31,149	△1,249	33,772
当期変動額					
剰余金の配当			△1,048		△1,048
親会社株主に帰属する当期純利益			1,692		1,692
自己株式の取得				△1,687	△1,687
自己株式の処分		0		5	5
持分法適用会社の増加に伴う利益剰余金の増加高			61		61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	0	706	△1,681	△975
当期末残高	1,587	2,284	31,855	△2,931	32,796

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,318	13	50	1,382	2,606	37,761
当期変動額						
剰余金の配当						△1,048
親会社株主に帰属する当期純利益						1,692
自己株式の取得						△1,687
自己株式の処分						5
持分法適用会社の増加に伴う利益剰余金の増加高						61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	81	127	0	210	585	795
当期変動額合計	81	127	0	210	585	△180
当期末残高	1,400	141	51	1,592	3,191	37,581

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,122	3,482
減価償却費	340	421
のれん償却額	27	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	5
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	13	16
従業員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	19	21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	59	64
受取利息及び受取配当金	△11	△16
持分法による投資損益 (△は益)	87	△174
事業組合投資損益 (△は益)	51	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△288
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	10
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	141
関係会社株式評価損	382	1
減損損失	248	—
営業債権の増減額 (△は増加)	975	△3,828
棚卸資産の増減額 (△は増加)	237	650
営業債務の増減額 (△は減少)	252	5,065
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△200	435
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,557	711
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△196	△21
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	549	2,142
その他	△645	1,400
小計	2,758	10,248
利息及び配当金の受取額	8	19
利息の支払額	△0	△3
法人税等の還付額	84	379
法人税等の支払額	△1,196	△642
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,654	10,002
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△897	△1,588
有形固定資産の売却による収入	—	664
無形固定資産の取得による支出	△175	△383
敷金及び保証金の回収による収入	308	32
関係会社株式の取得による支出	—	△400
関係会社株式の売却による収入	375	—
投資有価証券の取得による支出	△710	△189
投資有価証券の売却による収入	13	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△55
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△129
貸付けによる支出	△223	—
貸付金の回収による収入	58	179
その他	△31	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,280	△1,957
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	30	—
長期借入金の返済による支出	—	△133
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	—
自己株式の取得による支出	△0	△1,692
配当金の支払額	△620	△1,045
非支配株主への配当金の支払額	△55	△54
その他	△7	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△657	△2,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	99	87
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△184	5,199
現金及び現金同等物の期首残高	27,148	26,964
現金及び現金同等物の期末残高	26,964	32,163

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「イベント関連事業」「音楽・映像事業」「出演・CM事業」として分類しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	11,012	—	—	11,012	—	11,012
ファンクラブ・商品売上収入	9,825	—	—	9,825	—	9,825
音楽収入	—	7,422	—	7,422	—	7,422
映像収入	—	3,411	—	3,411	—	3,411
その他音楽・映像収入	—	1,726	—	1,726	—	1,726
出演・CM収入	—	—	5,344	5,344	—	5,344
顧客との契約から生じる収益	20,838	12,561	5,344	38,744	—	38,744
外部顧客への営業収入	20,838	12,561	5,344	38,744	—	38,744
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	205	129	34	369	△369	—
計	21,044	12,690	5,379	39,113	△369	38,744
セグメント利益	449	1,148	1,281	2,879	—	2,879
その他の項目						
減価償却費	203	105	31	340	—	340

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	20,481	—	—	20,481	—	20,481
ファンクラブ・商品売上収入	12,028	—	—	12,028	—	12,028
音楽収入	—	8,780	—	8,780	—	8,780
映像収入	—	4,981	—	4,981	—	4,981
その他音楽・映像収入	—	691	—	691	—	691
出演・CM収入	—	—	5,535	5,535	—	5,535
顧客との契約から生じる収益	32,510	14,452	5,535	52,497	—	52,497
外部顧客への営業収入	32,510	14,452	5,535	52,497	—	52,497
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	101	122	1	225	△225	—
計	32,611	14,575	5,537	52,723	△225	52,497
セグメント利益	473	1,938	741	3,153	—	3,153
その他の項目						
減価償却費	306	80	35	421	—	421

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. 当社グループでは、資産及び負債を報告セグメント別に配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	2,017.09	2,075.82
1株当たり当期純利益 (円)	89.74	100.61

- (注) 1. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度288,160株、当連結会計年度399,530株)。
2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度288,752株、当連結会計年度328,968株)。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,564	1,692
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (百万円)	1,564	1,692
期中平均株式数 (株)	17,428,274	16,826,625

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 減損損失

前連結会計年度(2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位:百万円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
その他	のれん	株式会社ライブ・ビューイング・ジャパン	東京都渋谷区	76
事業用資産	建物 有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	株式会社ライブ・ビューイング・ジャパン	東京都渋谷区	111
事業用資産	無形固定資産(その他)	株式会社アミューズ	東京都渋谷区	60

当連結会計年度(2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。